

第1学年 生活科 学習指導案

菊池市立泗水東小学校 教諭 宇田 展子

1. 単元名 「ようこそ しん1ねんせい」

2. 単元の目標

- ・入学前のことや入学してからの一年間を振り返ったり、新一年生と関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、役割が増えたことなどに気づくとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。(知識・技能)
- ・入学前のことや入学してからの一年間を振り返ったり新一年生との関わりを深めたりする活動を通して、一年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見つけたりすることができる。
(思考・判断・表現)
- ・入学前のことや入学してからの一年間を振り返ったり、新一年生との関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いを持って、意欲的に生活しようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、「入学前のこと、入学してきたときのことを思い出そう」「新一年生のことを知ろう」「新一年生に学校のことを知ってもらうために、どのようなことをしたらよいか考えよう」「新一年生が安心して学校生活を送るために、今後どのように生活していくとよいか考えよう」を教材として取り上げる。

入学前のことや入学してきたときのことを振り返り、新一年生の実態を知ることで、児童が一年前の自分と現在の自分とを比べ、自身の成長と変化を感じることができる。その上で、児童が自分を支えてくれた人々がいてくれたことに気づくことができる。

また、「新一年生に学校のことをお知らせする」という課題を設定することで、「分かりやすく」「新一年生が喜んでくれるようにお知らせする」という視点を持って学習を深め、児童がより相手意識を持って活動できるようになるよさがある。

(2) 児童観

本学級の児童は、学校行事や生活科の校外学習などで、地域の方と交流する活動をしてきている。この活動を通して、地域の歴史を知り、人々の思いを感じてきている。また、様々な学習を通して、一年生としての学習面・生活面両面における学びを深めてきた。後期後半の始まりのこの期に、本課題を取り上げる意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず、入学前から一年生を終えようとしている、これまでを振り返る。そのことを通して、自身の成長を感じられるようにする。

次に、新一年生が体験入学で来校すること、交流する予定であることを知らせる。その際、一年生が学校のことを教えることを伝え、どのようなことをすればよいかを考え、実行していくことを課題として示す。新一年生が何人ぐらい入学する予定なのか調べたり、自分たち自身を振り返って、小学校に入学するにあたって、知っていてよかったと思うことや、知っていることよいことを互いに出し合っけてまとめたりする学習を行う。この学習活動を通して、見通しを持たせ、学習意欲を高めるとともに、目的意識を高めることを目指したい。

それから、新一年生に学校のことを教えるために、どのようなことができるのかを考える学習活動を行う。これまでの生活科の学習や学校行事などを交えながら、児童の考えを尊重して学習を進めていきたい。考える際に、相手意識を持つよう促していく。

最後に、単元のまとめとして、自分自身に視点を戻し、新一年生が来春入学してきた時に、新一年生としてどのようなことができるのかを考えさせる。この学習を通して、進級するのだという意識と、次学年の学校生活への意欲づけを図りたい。

(4) ESDとの関連

・ 本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性…一年生が育ってきた過程で、入学前の時期や入学間もない頃があり、一年生と新一年生は最も身近で密接な関係にあるということ。

公平性…新一年生を経て一年生としての学びを深めていくので、本校へ入学予定の児童が平等に安心して入学できるように努力することが大切であるということ。

連携性…これから入学してくる新一年生が安心して入学できる環境をつくるためには、私たちが今できることを考えて努力することが大切であるということ。

・ 本学習で育てたいESDの資質・能力

「未来像を予測して計画を立てる力」

自らを振り返りながら、どのような活動をするべきなのか考えて、予測する。

「コミュニケーションを行う力」

どのような活動をしたいのか、お互いに意見交流する中で、自分の考えをつくり上げていく。

「他者と協力する態度」

どのような活動をしていくのか、自分の考えを持ちながら、友だちの考えも聴き、尊重しようとする。

「つながりを尊重する態度」

新一年生が安心して入学し、楽しく学校生活を送ることは、学校、町と密接に関わってくるので、自分たちでできることをしていこうとする。

「進んで参加する態度」

新一年生が安心して入学し、楽しく学校生活を送れるよう、できることを考え、自ら活動に参加しようとする。

・ 本学習で変容を促すE S Dの価値観

「世代内の公正」

一年生も新一年生も、安心して楽しく学校生活を送ることが大切である。

「幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。」

自分が「したい」ことを考えるのではなく、相手が「喜んでくれる」ことはどのようなことなのかを考えて、実践していく。

・ 達成が期待されるSDG s

4 教育

1 1 まちづくり

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①新一年生と関わることのよさや楽しさに気づいている。 ②自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気づいている。	①新一年生の気持ちを想像し、新一年生との関わり方を決めている。 ②自分の成長と人々との存在を関連付け、支えてくれた人々がいることについて話している。	①新一年生に喜んでもらえるように、学校のことを分かりやすく伝えようとしている。 ②周囲の人々に支えられ、自分が一年間成長してきたことを実感し、二年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

5. 単元の指導計画（全4時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	<p>1 入学前からこれまでのことを振り返り、自分自身の成長を感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな、カタカナ、漢字が読み書きできるようになった。 ・困っているときは、自分から友だちや先生に相談できるようになった。 ・泣く前に、言葉で気持ちが言えるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りが円滑に行えるように、これまでの活動の様子が分かる画像や動画を用意して、示すことができるようにする。 	<p>ア② (知・技)</p>
2	<p>2 新一年生が体験入学で来校すること、自分たちと交流する予定であることを知らせた上で、学習への見通しを持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何人ぐらい入学してくるのかな。 ・自分たちの入学した頃を思い出して、どんなことを知らせるといいか考えよう。 <p>3 新一年生に学校のことを知ってもらうためにどのようなことができるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学旅行とか運動会とか絵で描いてお知らせしたい。 ・あさがおの種をプレゼントするとうかなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験入学の際、新一年生に学校のことを自分たちが教えるということを知らせ、学習への意欲を高めさせる。 ・児童が調べたいと思うことが分かるように、事前に資料等を準備しておく。 ・児童が出す意見を肯定的に捉え、意見を出しやすい環境づくりに努める。 ・新一年生に「分かりやすく」「喜んでもらえるように伝える」という視点を示し、相手意識を持たせるようにする。 	<p>イ① (思判表)</p> <p>ウ① (主体的)</p>
3	<p>4 新一年生が来春入学してきた時に、新二年生としてどのようなことができるのかを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新一年生のお手本になれるように、自分から元気に挨拶する。 ・学校のことを教えてあげられるように、学校のことをもっと知っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に進級するという意識と意欲を持たせることができるよう、丁寧に振り返りを行い、単元のまとめができるようにする。 	<p>ア① (知・技)</p> <p>イ② (思判表)</p> <p>ウ② (主体的)</p>

